

【整理整頓】

身の回りの物を整理しなければならぬと思うことはよくあります。きちんと片付けたつもりでも、数日後にはまた書類が増えてしまいます。どういう分類の仕方がよいのか考え、整理箱も用意しています。

ところで、子どもたちはどうでしょう。昨年教室のロッカーの容量を2倍にし、鞆や学用品を収納するには十分なだけの場所を確保したつもりですが、使い方はどうなっているでしょう。確かに、個人の荷物はそのほとんどがロッカーや机の中に入っていますが、整理整頓が不得手な子の荷物はロッカーの中にただ詰め込まれているような状況であったり、ときには外にはみ出していたりすることもあります。自分の持ち物の管理がきちんとできないことは、もはや自分だけの問題ではないことも多いのです。授業で必要なものを見つけることができずに、結局はプリントなどを先生からもらうこともあるでしょうし、隣の席の人に見せてもらうこともあるでしょう。そのこと自体がすでに迷惑をかけていることとなります。また、プリントが見つからないから新たにもらう、結局は同じプリントが複数枚存在することになり、ますます整頓が大変になってしまいます。まさに悪循環なのです。この悪循環をどこかで断ち切り、あるべき姿にしていかなければならないでしょう。少し親の協力が必要な場合もあります。

【言葉の力】

「先生、お忙しいとは思いますが、・・・をよろしくお願いします」このような話し方ができる子がいました。私は本当に嬉しく思いました。きっと、家庭での言葉の環境が素敵なのだろうな。そんなことを考えながら一日を過ごし、翌日の朝会でこのことを全校の子どもたちに話しました。

「自分の気持ちをしっかり表現しよう」を大切にしている学校ですが、そこには相手に対する思いやりの心がなければならないことをいつも子どもたちに伝えていきます。しかしながら、子どもたちから聞こえてくる言葉の中にはその「思いやり」というものが感じられないものが少なくありません。また、自分が発したそういう言葉は、発した側にとっては一瞬のことでも、その言葉を向けられた側にとっては大きな心の傷になることもあります。この二者の間の大きな違いを理解できる子どもたちになってほしいと思い、朝会でも分かりやすい例をあげて話しました。さらに、思いやりにかける言葉をよく口にしてしまう子は、まわりからその言葉に象徴されるようなよくない印象を持たれるようになることも忘れてはいけなと伝えました。

言葉の持つ力、よい意味でもそうでない意味でも、それはとても大きいです。私たち大人もそのことをいつも意識しながら自分の発する言葉に責任が持てるようにしていきたいものです。それが子どもたちに伝わるからです。

【気づく力・考える力をつけたい】

バスや電車の中で携帯やスマホを取り出しゲームなどに夢中になっていて声の調節ができていないことや座席を独占していることなどで苦情をいただくことがあります。また、栗平駅からの通学路の子どもたちの様子を見ると、数名のグループで歩道いっぱい広がって歩いたり、ときには後ろ向きに歩いたりしていて明らかに他の歩行者の迷惑になっていることもあります。

そういうことがいけないということ、迷惑行為であることを指摘されてそう思わない子はまずいません。でも、そういうことで注意を受ける子に多く見られる反応は「ぼくだけじゃない、私だけじゃない」です。そう言われると確かにそうです。電車の中で携帯やスマホを見ている人、ゲームらしきものに夢中になっている人は多いです。子どもに周囲への気配りをすることを求めるのは簡単です。でも、それを求める大人が率先してそういう気配りをし、もう少し子どもに優しい眼差しを向けることが子ども自身がいろいろなことに気づくチャンスを作ることになるのではないのでしょうか。

ある朝、『新百合ヶ丘で7時33分発の電車に乗ろうとしたら、4～5人の子どもたちが入り口付近に立っていました。そこから乗車したときに体がぶつかり、その子は「痛いな。何この人？」と言い、その後しばらく自分のことをその仲間たちと話していたようでとても気分が悪かったです。』というような電話をいただきました。

電車は混んでいたのでしょうか。入り口付近に立たなければならなかったのかもしれませんが。混んでいる電車の中で多少の接触はあるでしょう。子どもたちはこういう状況の中でどんなことに気をつければよいのでしょうか？学校ではもちろんこういう状況を想定した声かけをします。でも、いくつかの声かけの中の例えば「入り口付近に立つと迷惑ですからできるだけ立たないようにしましょう」というものしか意識できないとすればそれは不十分です。自分の目でまわりを見て、自分でまわりの状況を感じて、どうすることが望ましいのかを考えることができる子どもになってほしいのです。

どんな場所でも、どんな場面でも大切なのは自分と他者の関わり方です。こういうことについてどうか家庭でもたくさんのお話を聞いて話そうにしてください。よろしくお願いします。